

展覧会基本情報：

■展覧会名 白鶴美術館開館90周年記念展 秋季の部
「観古一いにしえをみる」(本館)
「中東絨毯の美 アナトリア編」(新館)

■会場 白鶴美術館 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1

■日時 9月25日(水)~12月8日(日)
月曜休館
(但し、10月14日・11月4日は開館、翌火曜休館)
午前10時~午後4時30分(入館午後4時まで)

■入館料 大人 800円 大学・高校生 500円
中学・小学生 250円
(割引 上記各団体20名以上2割引 65歳以上500円)



白鶴美術館(本館展示室外観)

展示概要：

昭和9(1934)年5月、白鶴美術館は、白鶴酒造七代嘉納治兵衛(雅号鶴堂・鶴翁:1862-1951)の寄贈品500点をもとに開館しました。以来、東洋古美術を収蔵する美術館として、春・秋2回の展示を軸に活動を続けています。

今回の「開館90周年記念展 秋季の部」では、創立者嘉納治兵衛の文化人としての事績を辿りつつ、関連する日本・中国美術コレクションを展示いたします。

嘉納治兵衛は、奈良、興福寺に縁のある中村家に生まれ、幼少より古美術に親しんで育ちました。今回の展示品のうち、興福寺伝来2件の「四季花鳥図屏風」(展示替あり)は、幼少期に目にしていた絵画です。教職につき、後に漢学者を目指した京都での修学期を経て、明治20(1888)年、酒造業を営む灘の嘉納家(白鶴)に婿入りします。

三〇代より古美術蒐集を始め、趣味とした煎茶や抹茶においても古美術作品を扱い、同好の人びとに鑑賞する機会を供していますが、中国古代青銅器など、考古遺物の優品蒐集をきっかけに、昭和6年、コレクションの一般公開を目的として当館を設立しました。

是非この機会に、近代日本において嘉納治兵衛が志した美術思想普及に想いを馳せつつ、その人生を彩る美術作品をご覧ください。

なお、開館60周年記念事業により建てられた新館では、「中東絨毯の美 アナトリア編」と題して、アナトリア絨毯20点を展示します。合わせてご観覧ください。

展示作品例：



展示品例:(左より)

・「勾玉」 古墳時代

・重要文化財「金銅小幡」 白鳳時代

・国宝「賢愚経」甲巻 奈良時代

展示期間:9月25日—10月14日(祝・月)

・重要文化財「四季花鳥図屏風」(左隻)

狩野元信筆 室町時代

展示期間:11月17日(日)—12月8日(日)

<お問い合わせ>

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1 TEL/FAX 078-851-6001

(公財)白鶴美術館

公式サイト <https://www.hakutsuru-museum.org>